

日本人大学院生奨学金 2027 年度奨学生募集要項

2026 年4月

(公財)経団連国際教育交流財団

経団連国際教育交流財団は、教育面における国際交流を通じて、わが国と諸外国との相互理解の促進に資することを目的に、1976年に設立された。

当財団では奨学事業の一環として、一般社団法人東京倶楽部の協力も得て、**将来、アカデミアの世界で研究者として活躍することが期待される奨学生の募集**を行う。

1. 募集人員（海外の大学または大学院への留学生）

- (1) 経団連国際教育交流財団奨学生（専攻分野、留学先国ともに不問）： 1名
(2) 東京倶楽部奨学生（専攻分野不問、イギリスに留学する者）： 1名

※ 上記(1)、(2)ともに、以下の事項共通。(2)については、採用時に決定し、支給内容については経団連国際教育交流財団の規定に準ずる

2. 奨学金支給対象期間

留学を開始する 2027 年度中の新学期からの留学先大学(大学院)在学期間中
(2年間または1年間)

3. 奨学金支給内容

年間 500 万円を一律支給(使途は留学先の学費、生活費等、留学に関わる支出に限る)

4. 応募資格

- (1) 日本国民（外国籍を併せて有する者を除く）
(2) 応募期間を通じて財団の指定するわが国の大学院に在籍し、2027 年度中に留学を開始する者(科目等履修生、聴講生、研究生は応募不可)
(3) 2027 年3月31日現在において在学期間が修士・博士両課程通算満5年以内の者
(4) 学業、人物ともに優秀であって、**広く社会に貢献し、将来、アカデミアの世界で研究者として活躍する意志を持つ者**
(5) 海外の大学または大学院に1年以上留学した経験がない者
(6) 留学にあたり他の給付型奨学金を受ける予定がない者（併願は可）
(留学先大学で授業料の減免を受けること、生活費の助成を受けることは可)
(7) 留学先の公用語による意思伝達が十分可能な者
(8) 語学レベルが基準以上の者
➤ 英語圏へ留学希望の場合、TOEFL の成績が iBT 92 点以上 (MyBest スコアでも可) もしくは IELTS の成績が 6.5 以上であること

- 英語圏以外への留学希望者で、当該国の公用語を主に研究に使用する場合、ZD(ドイツ語)、DAPF(フランス語)等の主要な語学検定試験をあらかじめ受験していること
- 英語圏以外への留学希望者で研究に使用する言語が英語の場合は、英語圏へ留学希望の場合に準ずる(この場合、研究に英語を使用することを証明する資料を添付のこと)
- 語学検定試験のない言語を研究に使用する場合は、その言語の語学力を客観的に証明する書類を提出できること

5. 応募方法・応募の際の提出書類

(1) 応募方法：

応募者は、下の(2)に記載した提出書類のすべてを用意して、**留学支援共同利用センターに提出**すること。当財団への**直接の応募は受け付けない**書類は応募提出期限までに(下記(3)参照)郵送もしくは直接持参すること。

(2) 提出書類：選考に際し、選考委員等関係者に応募書類のコピーを配布します

* 提出書類一式は、選考時、選考委員等関係者で共有する。語学検定試験成績証明書等、日本語または英語以外の書類には、すべて和訳を付すこと

a. 願書

- ①上部に 4.5×3.5cm の上半身・脱帽・3カ月以内に撮影の写真貼付
日本語(A4判2枚) および英語(A4判1枚) 各1部
- ②電子メールのアドレスについては、通常24時間以内に連絡がとれるものに限る
- ③学歴・職歴欄については、卒業した高校以降のすべてを記載すること
(学歴・職歴の区別なく、最新の状況から記載すること)
日本学術振興会特別研究員の期間がある場合は、職歴として記載すること
行数が不足する場合には、書ききれない内容を別紙で提出すること
備考欄には、中退・退学・転入等の別や退職の理由について記載すること

b. ①学長または研究科長の推薦状 と ②指導教員の推薦状

日本語もしくは英語(指導教員が外国人の場合など)
(A4判片面、2枚以内) 各1部

【注意】学長の推薦状は大学側で用意するので、応募者は指導教員の推薦状のみ、提出すること。

c. 大学および大学院における学業成績証明書

日本語(学部から現在までの成績をすべて含めること) 各1部

d. 2024年9月以降受験の語学検定試験成績証明書の写しまたは語学力証明書

- * A4判片面に揃えること
- * TOEFL、IELTS の場合は、顔写真入りの成績証明書を表面・裏面各々片面コピーすること

e. 研究内容の概要

日本語と留学先での研究に使用する言語

(A 4判片面、各2枚以内、カラー不可)

各1部

* 専攻しているテーマおよび留学先で専攻しようとするテーマについて

簡潔にまとめること

* 1枚目に応募者の大学・大学院名、氏名を明記すること

(3) 応募受付期間：2026年8月24日(月)まで 留学支援共同利用センター必着

* 書類は郵送または窓口に直接持参してください。

* 郵送の場合、封筒には「経団連国際教育交流財団奨学金応募書類在中」と朱書きのこと。

* 直接持参の場合、受付時間は平日9:30～12:40及び13:40～16:30です。

(4) 応募書類提出先：

東京外国語大学 留学支援共同利用センター (研究講義棟215-2)

〒181-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

TEL：042-330-5113 Email：ryugakushien@tufs.ac.jp

6. 選考方法

(1) 第一次選考：書類選考

(2) 第二次選考：日本語と留学先での研究に使用する言語による対面面接

➤ 面接の時期は2026年11～12月(予定) 於 経団連会館(東京・大手町)

➤ 集合時間等詳細は、第一次選考通過者に直接、電子メールで連絡する

7. 選考結果の通知

選考結果は大学、応募者双方に通知する

8. その他

(1) 応募書類は返却しない

(2) 留学を希望する大学(大学院)への出願は応募者が各自で行うこと

(3) 奨学生に採用された者が応募資格を満たさなくなった場合および大学(大学院)への入学を許可されなかった場合には奨学生としての資格を失う

《参考》 奨学生の留学先と研究テーマ(2012年度以降)

| 年度 | 経団連国際教育交流財団奨学生 | 東京倶楽部奨学生(留学先は英国の大学) |
|-------|---|--|
| 2012 | パリ第12大学(フランス) 「近世フランスにおける外国人ー18世紀 ブリテン諸島出身者の事例からー」 | オックスフォード大学(イギリス) 「イスラーム地域における中世(11~14世 紀)の人工胎土陶器の研究」 |
| 2013 | トリブヴァン大学ネパール・アジア研究所(ネ パール) 「ネワール農民カーストにおける神仏の 形成ーネパール・カトマンズを事例にー」 | ロンドン大学インスティテュート・オブ・ エデュケーション 「イサム・ノグチの20世紀半ばの作品群に みる異文化の表象」 |
| 2014 | ソフィア大学(ブルガリア) 「ルーマニアのブルガリア語方言における目的 語接語重複ー言語接触と文化化の 観点からー」 | ロンドン大学キングス・カレッジ 「1580年代英国における重層的イタリア受容 ブーム」 |
| 2015 | ボアジチ大学(トルコ) 「近代オスマン帝国における都市行政と 公衆衛生」 | エセックス大学(イギリス) 「新興民主主義国における軍事クーデターに 関する数理分析」 |
| 2016 | ミズーリ大学コロンビア校(アメリカ) 「新興民主主義国における抗議行動の活発化ー ブラジルの事例から」 | バーミンガム大学(イギリス) 「シェイクスピア戯曲における沈黙と墓碑銘 の考察」 |
| 2017 | スタンフォード大学(アメリカ) 「資源の呪い」前史:「国家以前の石油」によ る独立とその効果 | ロンドン大学キングス・カレッジ 「核四極共鳴による地雷探知機の開発」 |
| 2018 | カイロアメリカン大学(エジプト) 「近代エジプトにおける政治と宗教」 | ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス 「報酬比率の倫理:巨額の基準の検討」 |
| 2019 | ボン大学(ドイツ) 「オットー朝期ドイツ、北イタリアにおける立 法活動」 | ————— |
| 2020※ | ————— | ————— |
| 2021 | ハワイ大学マノア校(アメリカ) 「波形解析を用いたハワイ天皇海山列の地震構 造」 | ————— |
| 2022 | ミュンスター大学(ドイツ) 「中近世ドイツに於ける大学の自意識と 社会に於けるその役割」 | ロンドン・スクール・エコノミクス・アンド・ ポリティカル・サイエンス 「教育ビッグデータへ適用できる計算効率性 に優れた教育測定モデルの推進法の開発」 |
| 2023 | ブラウンシュヴァイク工科大学(ドイツ) 「ミバエ由来フェロモンの化学的研究」 | ————— |
| 2024 | フランス国立社会科学高等研究院 「レ枢機卿の英雄主義:17世紀前半の政治 的・文化的背景との関連において」 | ————— |
| 2025 | ペンシルベニア州立大学 Smeal College of Business(アメリカ) 「ステークホルダー主義推進政策がマクロレ ベルにおける所得格差に及ぼす影響について」 | セント・アンドリューズ大学(イギリス) 「エドモンド・バークにおける「文明化」の基 礎:西欧社会と非西欧社会の多角的比較から」 |
| 2026 | フランス国立社会科学高等研究院 「近代フランスにおける精神病患者をめぐる法制 度の歴史」 | ロンドン・スクール・エコノミクス・アンド・ ポリティカル・サイエンス 「金融システムと経済発展の相互作用」 |

※ 2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により合格者が留学を断念したため、対象者なし

以上